

2025年度 経済学部・総合型選抜 二次試験 〈小論文〉

氏名

受験番号

以下の文章を読み、問に答えなさい。

働き方をめぐる論壇はいつの時代も騒がしい。近年では、社会の不透明さとは対照的な、輝かしい未来を謳う議論が目につく。それをリードする要素の1つは、デジタル技術の進化である。人工知能(AI)によって単純作業は消滅するので、クリエイティブな能力を発揮できる「人材」にならなければならない、といった主旨の言説が飛び交う。「AIによって10年後になくなる10の職業」のような、もっともらしい記事がインターネットに出回る。これは自分の仕事がなくなるのではないか、という不安を掻き立てる一方で、AIを使う側に回ることができれば、煩勞から解放されるというような明るい未来像を夢想させもする。

こうした不安と期待が入り混じるなかで、多くの課題が様々な角度から論じられている。AIは、それによって生み出される失業をカバーするだけの雇用を生み出せるのか。(1) デジタル技術を用いてクリエイティブ性を発揮できる技術を身につけるために、どのような教育が望ましいのか。

しかしここには、そもそも労働とはどういう活動なのか、という根本の問いが欠けている。対象が何なのか特定せずに、それがなくなるとかなくならないとか、変わるとか変わらないとかを議論しても仕方がないはずだが、労働とはそんなにわかり切ったものなのだろうか。

例えば、最近の音声合成技術の進化はすさまじく、ものによっては生身の人間の声と聞き間違えるほどであり、人間の歌声と区別できないような音声合成までも可能になってきている。すると、人間が歌う仕事は奪われていくのではないか。いや、歌は人間の精神的欲求から湧き出る文化的活動であり、AIによる美しい歌声が実現しても歌い手はいなくなるならない。しかし、それでも、人間の歌声に対価を支払う人は減るのではないか…。

このように考えあぐねる人に対して、未来論者は重ねてビジョンを示してみせる。どんな仕事が消滅するのかといったことは、考えても仕方がないことだ。なぜなら、AIによる超高度な生産性が実現した社会においては、そこで生み出される潤沢な富を広く公平に分配する(2) ベーシックインカム(BI)(注1)さえ導入されれば、気の向かない仕事はそもそもしなくてよくなる。君が歌を歌いたければ、好きなだけ歌えばよい。最低限の生活はBIで保障されており、もし君の歌を気に入ってお金を払ってくれる人がいれば、それが君に追加収入をもたらす仕事になるだけだ。

しかし上のように悩んでいる人は、なぜ自分がBIをもらうのに値するのか、また考えてしまうだろう。労働が単なる稼得手段(注2)になっている今の社会で、働かなくても生きていける、といわれても、にわかに信じられないというのは、十分想定されうる自然な反応である。そういう人に「生きているだけで価値がある」といった美しい理念を示してみせても、

「なぜ？」という乾いた問いが重ねて返ってくるだけである。とすれば、このような未来論で落ち着けるのは、そもそも最初から未来に明るい見通しをもっている人だけではないのか。未来を不安がっている人にとっては、一時の慰みくらいにしかない。しかし、未来論が後者を切り捨ててよい理由はないはずである。将来を憂う人を、小心者だとか、危機をあおる陰謀論者だなどと掃き捨てるような未来論は、本末転倒というほかない。

なぜ現下の社会がそのような不安感を抱かせるのか。丁寧に読み解き考える必要がある。労働による社会とのつながりの揺らぎが、そうした不安の1つの源泉ではないか、というのがここでの仮説である。<sup>(3)</sup> AIとBIで万事解決といった楽観主義的な未来論は、そこで代替される労働とは何なのか、またBIが根拠とする社会への帰属意識はどうして保証されるのか、といった基本問題を後回しにしてしまうから、肝心のところで説得力を発揮できないのであろう。どれだけ統計データを駆使して、理想社会の実現可能性を量的に論じたとしても、不安がっている本人がそこで生きるリアリティをもてない未来社会像は、やはり空想の産物になってしまうだろう。

(石井まこと・江原慶編著『多様化する現代の労働 新しい労働論の構築に向けて』法律文化社、2024年を一部改変)

注1 ベーシックインカム (BI) : 生きていく上で必要な最低限度のお金を、国が無条件で全ての国民に一生の間給付する仕組み。

注2 稼得手段 : お金を稼ぐ手段。

問1 下線部(3)の「AIとBIで万事解決といった楽観主義的な未来論」とはどのようなものか。文章全体の内容を踏まえて140字以内で説明しなさい。

問2 下線部(1)とあるが、デジタル技術を用いてクリエイティビティを発揮できる技術を身につけるために、あなたはどのような教育が望ましいと考えますか。260字以内で自由に述べなさい。

問3 下線部(2)の「ベーシックインカム (BI)」を導入することで、①これまでの労働のあり方はどのように変化すると考えられますか。また、②そのように変化した際のメリットとデメリットは何だと思えますか。そして、③以上の点を踏まえて、あなたはBIの導入に賛成しますか、それとも反対しますか。①と②と③について、あわせて800字以内で述べなさい。

○配布した解答用紙(横書き)に設問ごとに解答しなさい。

○解答用紙ごとに、受験番号、氏名を記入すること。

○解答用紙のホチキス留めは、外さないこと。

○問題用紙は、回収します。

2024年11月16日(土)